



技術ノート 第42号
アマゾン州経済パネル
要約版：2025年7月25日発行

著者
André Ricardo R. Costa

補助者
Almir Corrêa A. Samad
Lucas Almeida

CIEAM管理部門
Luiz Augusto Barreto Rocha
上級評議会会長

Lúcio Flávio Moraes de Oliveira
執行会長



アマゾン州経済パ ネル

略語一覧（りゃくごいちらん）

- CIEAM – アマゾナス州産業センター
- PEA – アマゾン経済パネル
- PIM – マナウス工業団地
- FMI – 国際通貨基金（IMF）
- PIB – 国内総生産（GDP）
- BACEN – ブラジル中央銀行
- IBGE – ブラジル地理統計院
- PPB – 基本生産プロセス
- IBCR-AM – 地域経済活動指数 – アマゾナス
- IBC-BR – ブラジル中央銀行経済活動指数
- ANAC – 国家民間航空庁
- ANTAQ – 国家水上輸送庁
- ANP – 国家石油・天然ガス・バイオ燃料庁
- ComexStat – 貿易統計システム
- Sefaz-AM – アマゾナス州財務局
- ICEI-AM – 産業信頼アンケート – アマゾナス
- MTE – 労働雇用省
- RFB – ブラジル連邦歳入庁
- TEUs – 20フィートコンテナ換算単位

2025年のアマゾン州経済とマナウス工業団地の業績

全体的なパフォーマンス：ブラジル中央銀行は通常、州ごとの経済パフォーマンス指数を約2か月遅れで発表しており、2022年の平均生産量を基準（100）としています。

アマゾナス州におけるこの指数は IBCR-AM と呼ばれ、現在は名目値で 114.42、季節調整済みの値で 110.15 を記録しています。

グラフ01 は、指標の最近の動きを示しており、2025年の最初の5か月（青）と2024年の第1四半期（赤）を比較しています。

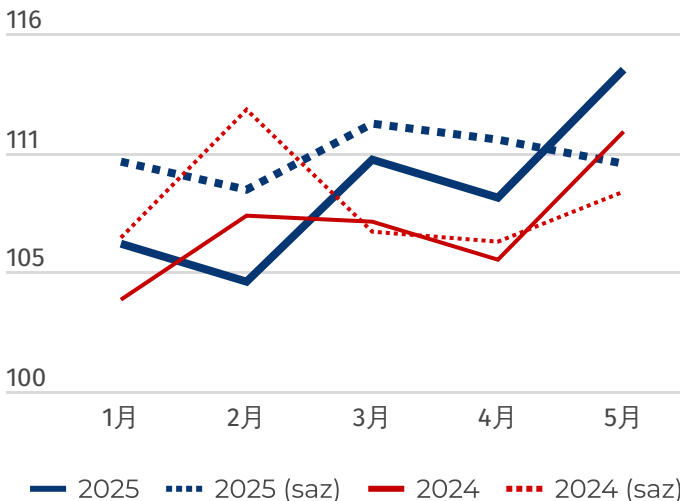
グラフ02 は、アマゾナス州（青）とブラジル全体（緑、IBC-Br 指数）のパフォーマンスを比較しています。

この2つのグラフは対照的な動きを示しており、1つ目はアマゾナス州における年初の比較に焦点を当てています。5月の新たな増加 — 前月比 5.27% — は、2025年が2024年よりも大幅に良いスタートを切ったことを裏付けています（なお、2024年も優れた年でした）。

グラフ2 は前回のエディションとは逆の結論を示しており、当時はアマゾナス州がブラジル全体よりも好調でした。このことは、アマゾナス州における年間中盤の活動減退という典型的なパターンを浮き彫りにしており、今後数か月で確認される可能性があります。12か月累積変動は、2024年6月からの推移に焦点を当てており、その時点で前月比で大幅な落ち込みがあったことが見て取れます。これはこの時期によくある傾向です。

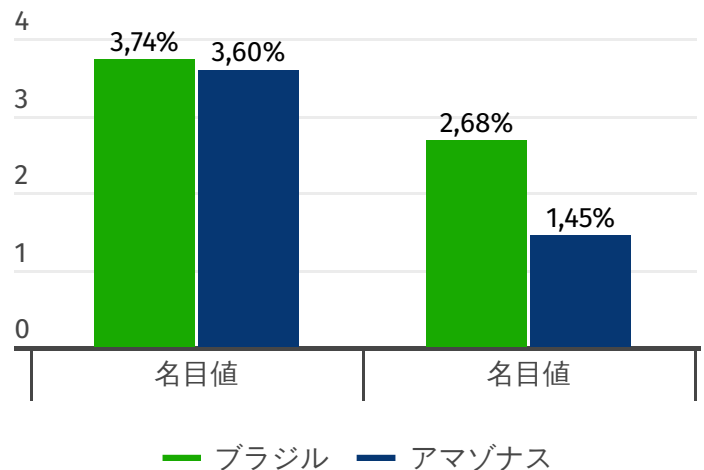
グラフ01：IBCR-AM

出典：著者作成、Bacenのデータに基づく



グラフ02：IBC-BrとIBCR-AM（12ヶ月累計）

出典：著者作成、Bacenのデータに基づく



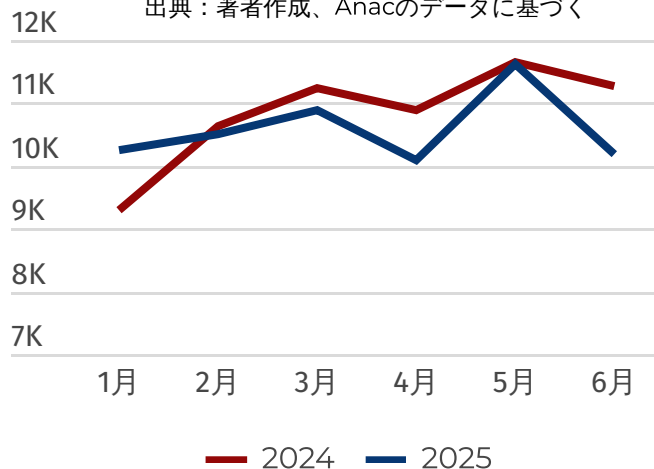
部門別データ - サービス業

部門別データは、規制当局から直接取得していません。サービスの中では、マナウス工業団地に適用される物流サービスを強調しています。

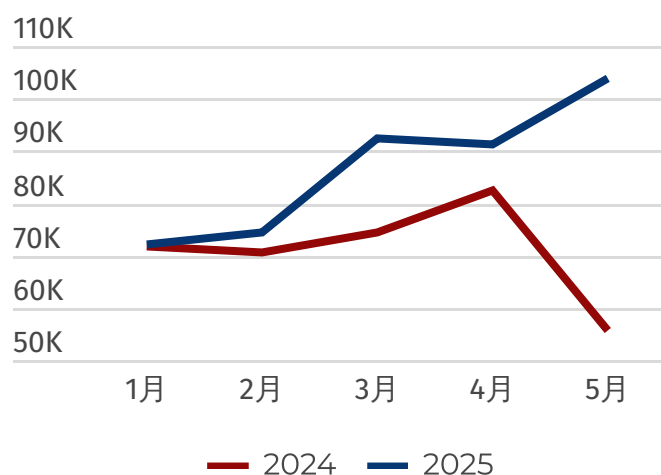
空港および港での貨物取扱量が含まれます。港湾の取扱量（トン単位）には、コンテナ化されていない貨物も含まれます。

グラフ03：アマゾナス州の空港貨物輸送量
貨物量（単位：千トン）

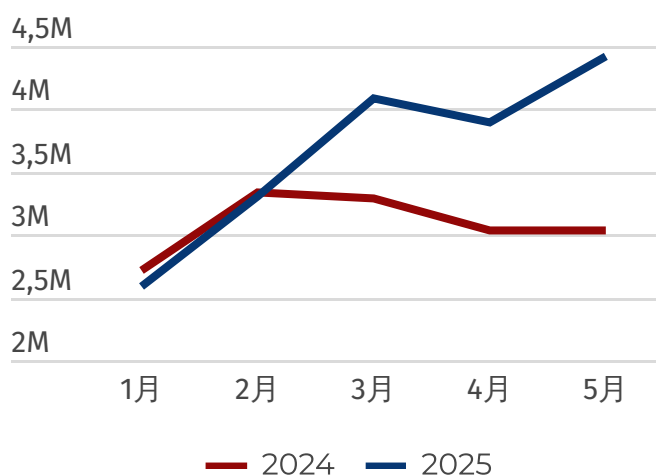
出典：著者作成、Anacのデータに基づく



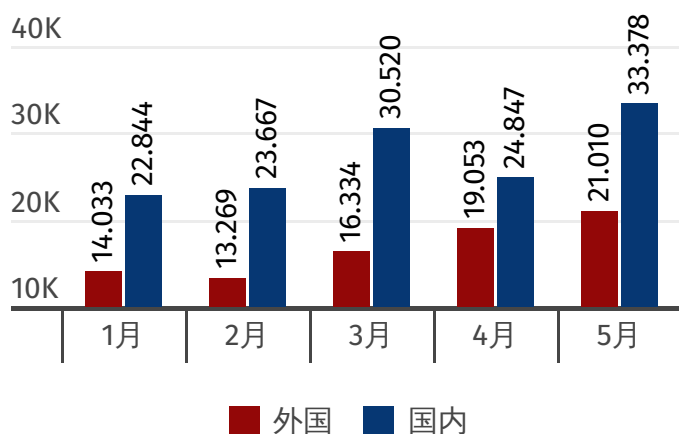
グラフ04：アマゾナス州の港湾輸送量
単位：千TEU
出典：著者作成、Antaqのデータに基づく



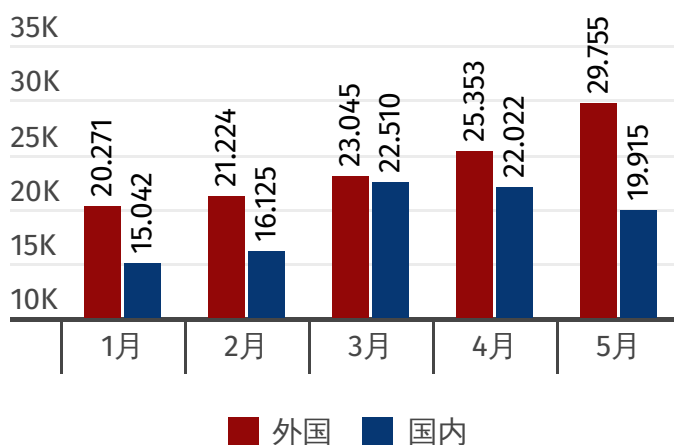
グラフ05：アマゾナス州の港湾輸送量
単位：百万トン
出典：著者作成、Antaqのデータに基づく



グラフ06：アマゾナス州で積載されたコンテナ数
単位：TEU
出典：著者作成、Antaqのデータに基づく



グラフ07：アマゾナス州で陸揚げされたコンテナ数
単位：TEU
出典：著者作成、Antaqのデータに基づく



2025年のアマゾナス州経済とマナウス工業団地の業績

部門別データ（炭化水素）

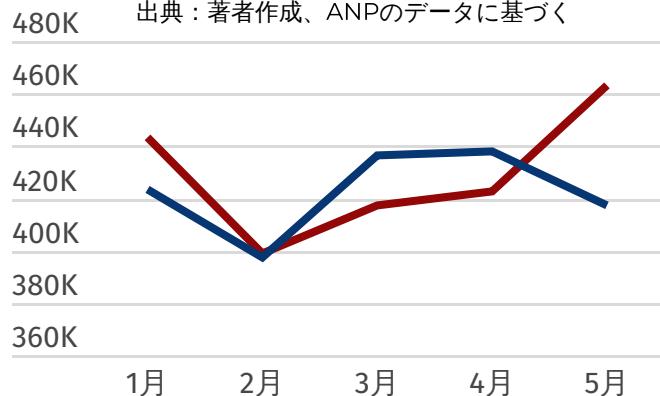
国家石油庁からは炭化水素のバリューチェーンに関するデータを取得できます。
アマゾナス州には採掘、精製、販売という完全なバリューチェーンが存在します。

しかし、地元の製油所による石油製品の生産は価格形成の問題により不安定であり、アマゾナス州は燃料供給において自給自足できていません。
石油とガスの採掘も目立った成果を上げていません。

グラフ08：アマゾナス州の天然ガス生産量

単位：千立方メートル

出典：著者作成、ANPのデータに基づく

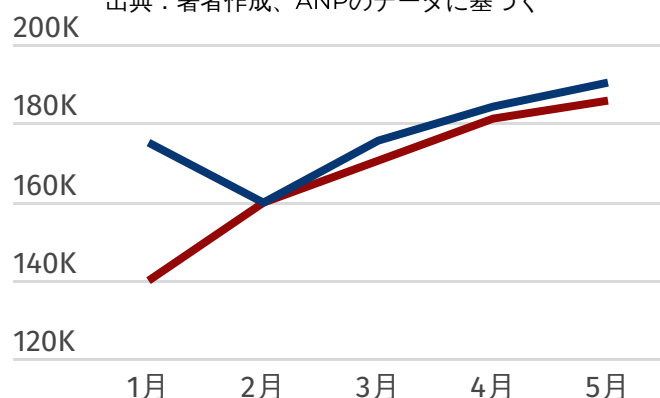


— 2024 — 2025

グラフ10：アマゾナス州の石油製品販売量

単位：千立方メートル

出典：著者作成、ANPのデータに基づく

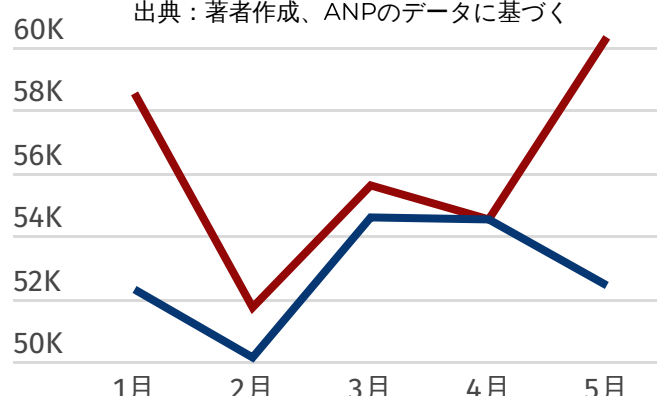


— 2024 — 2025

グラフ09：アマゾナス州の石油生産量

単位：千立方メートル

出典：著者作成、ANPのデータに基づく

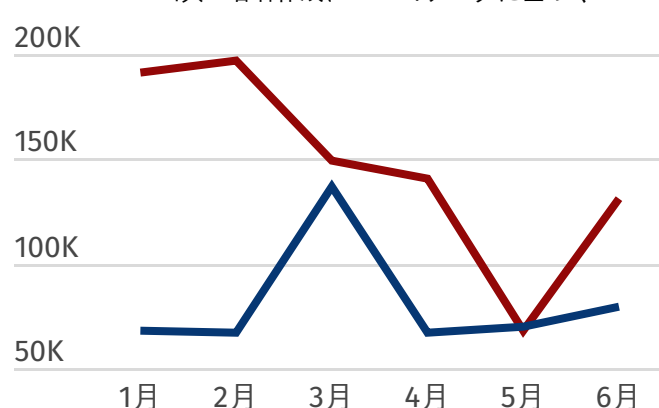


— 2024 — 2025

グラフ11：アマゾナス州の石油製品生産量

単位：千立方メートル

出典：著者作成、ANPのデータに基づく



— 2024 — 2025

マナウス工業団地の業績

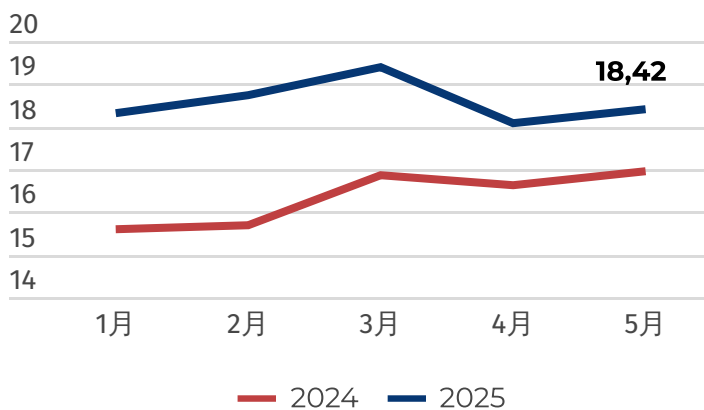
グラフ12：PIMの合計（単位：十億リアル）

このグラフと表のシリーズでは、マナウス工業団地における企業の売上高の推移が示されています。2025年の最初の4か月（青線）と2024年の同期間（赤線）を比較し、総計および部門別のデータを表示しています。データはスフラマ（Suframa）によるものです。

月別の比較では、**1.9%のわずかな成長が見られます。年初からの累計では、依然として13.7%**という大幅な増加が続いています。

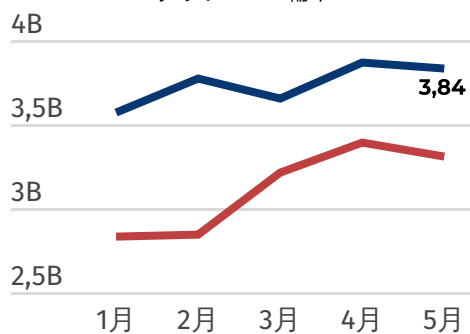
部門別の比較では、「二輪車」および「機械」部門が2024年を大きく上回る勢いで年初を迎えたことが際立っています。

しかし、「機械」部門は過去2か月で急激な減少を記録しました。一方、「熱可塑性樹脂」部門では逆の動きが見られます。

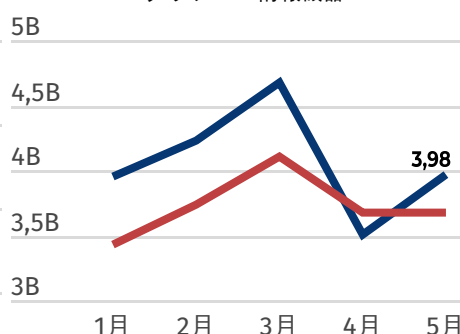
表01：その他のセクターの注目点
売上高の変動

セクター または 部門 (ぶもん)	Δ対 2025年 4月	Δ対 2024年 5月
皮革	118,23%	114,76%
木材	31,45%	75,91%
おもちゃ	22,57%	22,93%
文具	-14,72%	-9,72%
時計	-23,98%	5,35%
造船	-81,65%	-74,07%

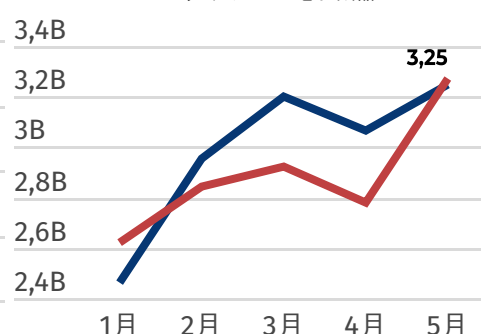
グラフ13：二輪車



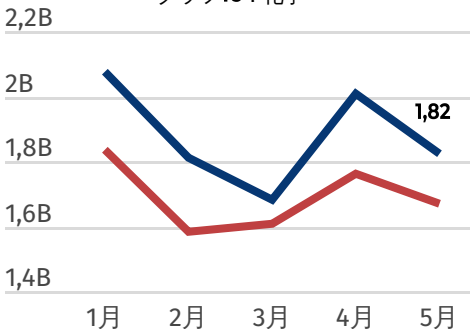
グラフ14：情報機器



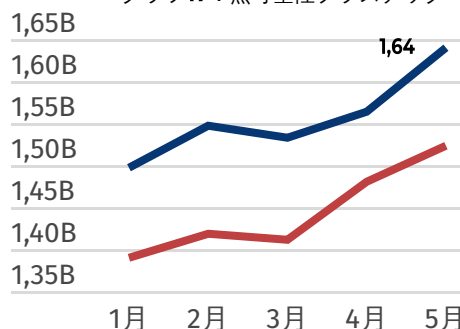
グラフ15：電子機器



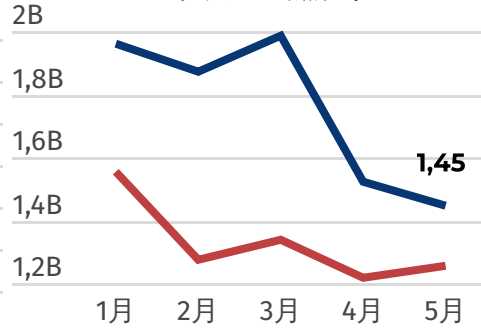
グラフ16：化学



グラフ17：熱可塑性プラスチック



グラフ18：機械工学



生産：表02では、マナウス工業団地（PIM）の主要製品の生産データを示しており、2025年の最初の5か月と2024年の同期間を比較しています。

オートバイの生産は売上高ほどの成長を見せておらず、価格の好調な推移と需要の持続が示唆されます。携帯電話の生産が注目されており、プリント基板との関連から情報機器分野の好調なパフォーマンスを示しています。テレビの生産減少は、電子機器分野における強い多様化を示しています。

輸入：輸入はマナウス工業団地（PIM）の売上高を予測する上で最も即時性が高く予測的なデータです。グラフ19では、2025年のデータを2024年の月別推移と比較しています。

輸入の動きは通常、PIMの売上動向を先取りする傾向があります。ただし、2024年1月は例外でした。この月は、2023年の干ばつによって保留されていた原材料の在庫が文書手続きの解消を経て通関されたことにより、比較基準が膨らんでいました。

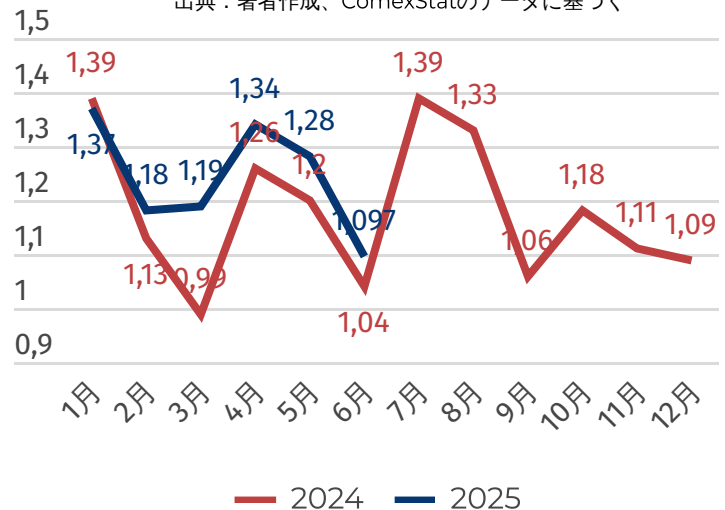
表02：主要製品の生産数量

製品	1月～5月/24	1月～5月/25	増減（Δ）
オートバイ	794,037	898,735	13.19%
エアコン			
スプリット型	2,308,845	2,709,119	17.34%
コンデンサー	351,686	1,090,271	355%
エバポレーター	393,732	1,196,612	350%
窓用	168,339	159,549	-5.22%
プリント基板	16,597,744	20,370,972	22.73%
携帯電話	4,868,501	5,989,722	-18.72%
テレビ	5,807,679	5,806,729	-0.02%

グラフ19：PIMの輸入

FOB（単位：10億米ドル）

出典：著者作成、ComexStatのデータに基づく



最新の更新によると、5月におけるPIMの輸入は14%減少し、10億9700万米ドルとなりました。これは6月および7月の生産と売上の減少を予兆するものであり、年のこの時期にはよくある動きです。工場は下半期の生産ピークに向けた準備のため、通常この時期に生産を縮小します。

アメリカが4月初旬に関税戦争を開始した際、輸入品への関税引き上げの主な対象は中国でした。その当時、中国が工業用在庫や原材料、製品の輸出先を見つけるのに困難を抱える可能性があるという、曖昧な見通しが浮上していました。

現在、この可能性がどの程度現実となったかを分析します。戦略としては、3月の価格を基準とし、FOB価格を輸入統計数量で割って算出します。3月から6月にかけて、PIM向け輸入額は約49億米ドルとなりました。価格が大きく下落し、約4億4600万米ドルの節約が生まれました。3か月間での累計節約額は18億6000万米ドルです。ただし、NCM（メルコスール共通品目分類）の分類変更や供給品目の入れ替えによる影響もあるため、手法には精度向上が求められます。

この制約を回避するため、最も多く輸入された6品目を詳細に分析しました（表20のデータ）。結論は曖昧です。携帯電話用部品キットでは3か月間で3300万米ドル、LCDモジュールでは2900万米ドル、エアコン部品では1600万米ドルの節約が見られました。プリント基板（プロセッサ）は当初大幅に下落した後、大きく上昇しました。非プログラム型コンポーネントは安定していました。最も悪かったのはオートバイ部品で、価格上昇により2688万米ドルの追加コストが発生しました。

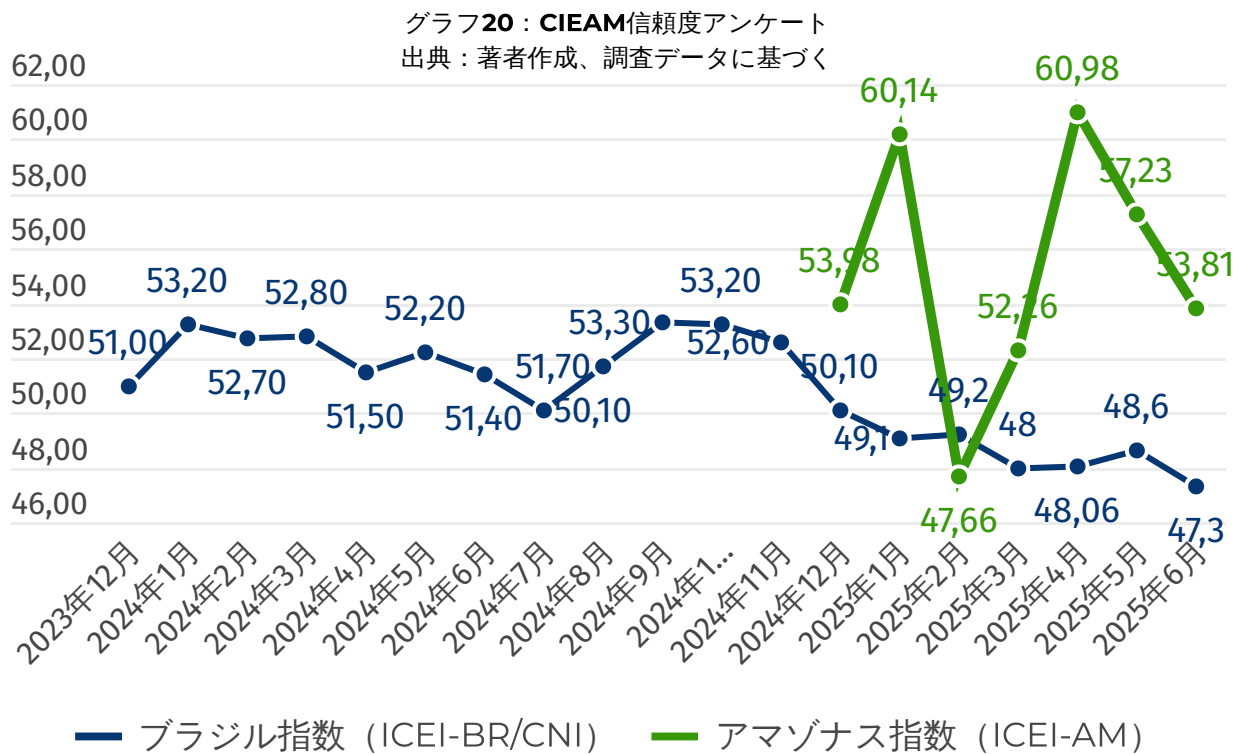
これら6品目における累計節約額は2,688万米ドルでした。

表03：PIMが最も多く輸入した6品目の価格推移

		3月	4月		5月		6月			
CO_NCM	品目	3月 - 数量	単価	4月 - 数量	単価	5月 - 数量	単価	6月 - 数量	単価	節約額
85423120	情報用プリント基板 (PCI)	20,340,854	5.60	22,428,769	4.52	18,720,896	6.37	16,187,495	7.24	-16,920,257
85249100	LCDモジュール	1,320,728	84.94	1,961,013	78.40	1,549,724	81.29	1,399,706	77.31	29,145,183
84159090	エアコン部品	11,188,337	6.23	16,759,385	5.50	14,047,062	5.95	9,682,360	6.23	16,247,973
85177900	携帯電話部品	343,782	138.89	388,717	108.73	440,100	112.01	208,938	93.27	33,085,353
85423939	電子機器用PCI	135,805,676	0.30	148,175,086	0.32	143,832,832	0.33	129,030,374	0.32	-8,300,702

産業信頼感調査・CIEAM に所属する産業経営者や幹部を対象に実施された第7回アマゾナス産業信頼感調査（ICEI-AM）の結果を紹介します。この調査は、全国レベルで CNI（ブラジル全国工業連合会）が算出する指標と比較することを目的としています。

今回の結果－指数 53.81－は、アマゾナスの産業界はまだ信頼感を維持しているものの、冷え込みの傾向を示していることを示しています。全国レベルでは、指数 47.3 で悲観的な領域に突入しています。この動きは、季節的に典型的な需要の制約に加え、インフレの継続と高金利により悪化しています。国際関係における否定的なニュースも重要な役割を果たしています。



結論

5月において、アマゾナス州の経済は好調なパフォーマンスを見せました。しかし、矛盾する兆候も見られます。マナウス工業地帯（PIM）の売上がわずかに増加し、コンテナの取扱量も大幅に増加しました。

一方で、輸入は減少しており、これは産業活動の減速を予兆するものであり、この時期特有の動きでもあります。

8月には活動の加速が再開し、年初の楽観的な予測が確認されることが期待されています。